

令和6年度 静岡大学人文社会科学部
私費外国人留学生選抜試験問題

経済学科

[小論文 (英文読解を含む)] (RK)

令和6年2月4日(日)
9時30分～10時50分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題用紙・解答用紙・下書用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題用紙及び下書用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題用紙 (この表紙を除く)	・・・6枚
解答用紙	・・・3枚
下書用紙	・・・3枚

『答案作成の注意事項』

1. 書き出しは、一マスあけない。
2. 改行したら、一マスあける。
3. 読点には「、」を使用し、句点には「。」を使用し、それぞれ一マスとする。ただし、行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
4. 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は一マスで使う。
5. 数字と英字の書き方は、下の例に従い、二文字で一マスを使う。
数字例：123であれば、「12」と「3」で二マス使用。
英字例：abcであれば、「ab」と「c」で二マス使用。



1 次の文章は、市川嘉一著『交通崩壊』（新潮社、2023年）の一部である。この文章を読み、問1～2に答えなさい。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

出典：市川嘉一著『交通崩壊』（新潮社，2023年，3～8頁）。ただし，本文は縦書きを横書きと

し、原文にあった小見出し等を省いた。また、常用漢字以外にはルビを振り、原文にはない(注1)～(注3)を追加した。

(注1) 地方民鉄：民鉄とは民営鉄道の略であり、民間企業が運営する鉄道のこと。そのなかでも、大都市圏の郊外、地方中核都市や山間部などにあるもの。

(注2) 第三セクター鉄道：第一セクター（国や地方公共団体）と第二セクター（民間企業）の共同出資による鉄道。

(注3) ガラパゴス：孤立した環境下で独自に進化するものごとを指す。エクアドルのガラパゴス諸島の生物が独自の進化を遂げたことが由来。

問1 下線部①について、なぜこういったことが言えるのか。本文に即して250字以内で述べなさい。(配点30%)

問2 下線部②について、筆者はなぜ必要と考えているのか。本文に即して250字以内で述べなさい。(配点30%)

RK

2 次の文章は、 Erina Ito and Etuko Akuzawa, “Many older women in Japan stuck in low-paying jobs”(Asahi Shinbun Cross-Search, 2023/05/12)である。これを読んで問1～2に答えなさい。

著作権の関係上、公表しません。

PK

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

出典：Erina Ito and Etuko Akuzawa, "Many older women in Japan stuck in low-paying jobs"(Asahi Shinbun Cross-Search, 2023/05/12).

<https://xsearch.asahi.com/english/detail/?1704357915111>

ただし、原文にあった小見出し等を省いた。

問1 中高年の独身女性の多くが現在も置かれている働き方の状況について、本文に即して150字以内で述べなさい。(配点20%)

問2 上記の状況が生じている要因について、本文に即して150字以内で述べなさい。(配点20%)

採点・評価基準（具体的基準）

教科・科目名	小論文（英文読解を含む）
実施学部・学科等	人文社会科学部経済学科
出題のねらい	<p>① - 問1 日本文の内容の意味をしっかりと理解し、的確に要約する力を問う問題である。</p> <p>① - 問2 日本文の内容の意味をしっかりと理解し、的確に要約する力を問う問題である。</p> <p>② - 問1 英文の内容の意味をしっかりと理解し、的確に要約する力を問う問題である。</p> <p>② - 問2 英文の内容の意味をしっかりと理解し、的確に要約する力を問う問題である。</p>
採点基準	<p>① - 問1（配点30%） ローカル線が廃線になることについて、著者の説明を的確にまとめているかどうかを評価する。</p> <p>① - 問2（配点30%） 鉄道への公共の関与について、著者の説明を的確にまとめているかどうかを評価する。</p> <p>② - 問1（配点20%） 中高年の独身女性の多くが、大学卒業時の就業環境を背景に低賃金の非正規労働を余儀なくされ、その後も政策上の支援をえることなく変わらない状況にあるという点を的確にまとめているかを評価する。</p> <p>② - 問2（配点20%） 彼女らの苦しい生活環境の要因が本人にあるのではなく、日本の伝統的な家族モデルに合わせた社会保障制度や就業環境、さらにその改善のための政策の問題という社会構造に原因があるという点を的確にまとめているかを評価する。</p>